

★★

巻頭言 元時事通信記者 篠田憲明

### 来年度予算成立と引き換えに岸田退陣の声有力

★★

臨時国会が今月13日閉幕して、自民党安部派の裏金疑惑に関する東京地検特捜部関係先への家宅捜査始まった。一方、臨時国会閉幕を受けて岸田内閣のマスコミ各社の内閣支持率調査結果が各社とも一斉に急落した。また連立を組む友党・公明党の自民に対する微妙な風が吹き始めており、自民党には「このままでは岸田総理・総裁の旗では戦えない」(自民党閣僚経験者)との声も強くなっており、更に安部派の裏金疑惑で有力国会議員の逮捕がうわさされており、「このままでは通常国会を乗り越えられない。来年度予算成立と交換で岸田は退陣する」との見方が急速に高まっている。来年4月28日には故細田博之氏の死去に伴う衆院島根1区の補欠選挙が行われるが、今の安倍派裏金疑惑の先行きが不安定で、負ける公算が高い。その3ヵ月前の1月21日に投開票される東京・八王子市長選挙がある。負ければ岸田降ろしの動きが本格するのは確実。各社の内閣支持率が臨時国会閉幕后さらに低下した。朝日新聞、NHK、読売新聞なども一斉に20%台に落ち込んだ。自民党が2012年に政権に復帰して以来の史上初めての低さだ。毎日、時事通信の18%台は特に酷い。閉幕直前の調査ではあるが、すべてに共通しているのが、自民党支持率の急降下である。所謂青木の法則によれば、内閣の支持率と自民党支持率の和が「50」を超えていれば自民党は安泰だが、最早「40」を下回っている数字もある。「この上今回の裏金疑惑で有力国会議員が逮捕されると支持率はそこを抜けるだろう。小手先に人気取りでは支持率回復は望めず、岸田さんの下では戦えない」(自民党関係者)などと述べてる。更にショックなのは、従来、岸田首相は若者・女性の支持率が低だけでなく、高齢・男性の支持率が多いとされる自民党の支持率が大きく低下している。NHKの調査でも、自民党の支持率が29.5%、2012年に政権復帰して以来初めて30%を割り込んだ。「このまま衆院解散したら、自民党の負けは確実だろう」との声が多い。

そうなる、自民党の下野が現実的に見える。とは言え、野党の支持率も低いまま。立憲民主党が7.4%に上昇したが、自民党の支持率低下が指示に上乗せされた程度。野党第二党の「日本維新の会」は4.0%、この数字では、野党に政権を任せようとの国民は少ない。ならば、自民党内の政権以降の方が現実的だ。ただ、来年秋の自民党総裁選挙で岸田に対抗する人材は少ない。茂木幹事長、河野太郎デジタル行財政改革担当相、小泉進次郎元環境相らも「ポスト岸田の候補だが、」茂木氏以外は派閥の領袖ではなく脅威にならないという。高市早苗安全保障担当相が来年の総裁選に向けた勉強会「日本のチカラ研究会」を立ち上げた。このほか、青山繁晴・参議院議員（日本の尊厳と国益を護る会）代表も総裁選に名乗りを上げている。高市・青山氏は故安部晋三のシンパ保守系の支持はあるが、支持の広がりはない。結局「岸田氏の方がマシ」との見方が有力。やはり、政権党だった民主党が悪いのか、政権復帰後の自民党支持していた有権者の責任なのか？（憲）

★★

勝池レポート      アジア資産運用アドバイザー 勝池和夫  
「インド株投信は新NISAのMVP」

★★

インドは新興国に分類されています。中でも人口で中国を抜き、世界最大の内需が期待される新興国です。一方でインドは、人工知能、宇宙開発などの先端分野では米国と並ぶ先進国の顔も持っています。

つまり、インドは新興国と先進国の二つの強力な成長エンジンを備えた「先進新興国」だと言えます。譬えれば、メジャーで活躍している大谷翔平選手のようなパワフルな二刀流経済の国です。

いよいよ来月から始まる新NISAの「成長投資枠」を利用して、そのインドの株式投信に長期投資をすれば、日本の投資家には大きな夢が広がります。

インド株の投信は、よく金融機関が提唱する「コア・サテライト戦略」の中のサテライト資産ではありません。誰も大谷選手のような金融資産を、サテライト並みのリリーフや下位打線の資産とは思いませんよね。それどころか、私たちの金融資産チームの「エースで四番」の様な存在です。

新NISAの「成長投資枠」の年間投資上限額は、今までの一般NISAの倍の年間240万円です。更に非課税期間は5年から無期限になります。ということは、投資枠上限でのインド株投信への投資は、あなたのチームに歳を取らない大谷翔平選手が二人入るようなものです。とても頼もしいですね。

先進国の成長率はこれからますます低下傾向になると予想されます。G7は1960年代の5～6%がピークで、これからはどれほどAIを取り入れても、せ

いぜい1～2%しか期待できません。寂しい話ですが、来る私たちの「人生100年時代」は先進国の「低経済成長の時代」なのです。

そんな時代に始まる新NISAのインド株投信は、メジャーリーグの「MVP」のように私たちの期待に応えてくれると信じています。

2024年もどうぞよろしくお願いいたします。



## Most Valuable Product

### お知らせ

好評発売中。インド株投資の前には一読ください。





## ムッシュ望月の今月の相場展望と映画紹介

映画は世につれ、世は映画につれ、世相を反映するのが相場



### 相場展望：新しい日本が動き出す年 2024 年

先月号も相場格言の紹介をした。この相場格言「子繁栄、丑躓き、寅千里を走り、卯跳ねる、辰巳天井（2024、2025 年）は、経済のサイクル（在庫、設備投資、建築需要、技術革新）に関連することが多く、年の初めの相場を紹介することが多い。今年（卯年）は戦後過去 8 回の卯年は、勝率では 5 勝 3 敗と高くはないが、平均騰落率では、子年の 39.8%、辰年の 27.9% に次ぐ 15.5% と卯年は高い。特に 1987 年の 15.3%、1999 年の 36.8%、2011 年は 17.3%、今年（卯年）の 2023 年は 12 月現在で 26.8% と 4 回連続の好パフォーマンスである。来年（辰年）は、戦後 2 番目となる好パフォーマンスだけに当然期待度は高く、「日経平均は 1989 年の最高値を更新し、4 万円超えもあり得る。」との予想の見方も多い。戦後の歴史をさかのぼると、1952 年は朝鮮戦争特需で資源株や軍需株が活況となった。1976 年はロッキード事件が発覚し政局が不安定化したものの、景気回復から年末には輸出関連株が買われた。1988 年はバブル景気で上昇基調を強めた。一方で、1964 年は日本が経済協力開発機構（OECD）に加盟した年で、東京五輪開催も終わり、企業業績の悪化が進み、翌年にかけては証券不況となり、年間騰落率は 0.7% の下落と低迷、2000 年は IT バブルの崩壊でハイテク企業の業績予想の下方修正が続き 27.2% の下落の厳しい年となった。辰年相場は相場の転換点となるケースも多い。例えば、1952 年にはスターリン暴落、1964 年の翌年 5 月に山一証券への日銀特融が決定され、88 年の翌年には資産バブルがピークを迎え、2000 年には IT バブルが終わったことから「辰巳天井」という相場格言が印象付けられることになった。その過去の流れを考慮すると「2024 年は米国では連邦準備制度理事会（FRB）による利下げが見込まれ、大統領選挙に向けて混乱、ウクライナ問題の終結に絡んだ混乱、中国の不動産バブル崩壊等があり得る。国内では、日銀が春闘後にマイナス金利を解除するとみられ、秋の自民党総裁選までには解散・選挙も予想され、自民党の安倍派・二階派パーティ券問題の行方が注目される。4 年に 1 度の大統領選の始まる 11 月、秋の総裁選に絡み年後半は波乱の可能性を頭に入れて対応したい。2024 年 7 月には財務省と日本銀行が渋沢栄一を図柄にした新たな 1 万円札などを発行することになり、このデザイン刷新は 2004 年以來 20 年ぶりのことである。同氏が新札に選ばれた理由は、日本の新産業の育成に貢献したことにある。日本がまた世界に羽ばたくスタートの年になることを期待したい。（純記）

映画：ぼくは君たちを憎まないことをした

11月は15本の映画をみました。通算では126本となり、年間の目標の120本は達成できました。11月に見た映画は、私はモーリーン・カーニー（仏アレバ、仏原子力発電会社）、おしよりん（鯖江メガネ）、理想郷（スペイン）、ぼくは君を憎まないことにした（パリ同時多発テロ）、首（たけし）、キリエの歌（岩井俊二監督）、ゴジラー1．（ゴリラ＋クジラ、1954年ビキニ諸島）、法廷遊戯（杉咲花）、翔んで埼玉（二階堂ふみ）、正欲（新垣結衣）、ロストフライト（ジェラルド・バトラー）、ドミノ（ベン・アフレック）、ザ・クリエイター、マーベルズ、北極百貨店のコンシェルジュです。今回紹介するのは「ぼくは君たちを憎まないことにした」です。舞台はフランスのパリ、2015年11月13日金曜日の朝、ジャーナリストのアントワーヌ・レリスは息子のメルヴィルと一緒に、仕事に急ぐ妻のエレーヌを送り出した。息子のために健康的な朝食を手作りして体調管理に気を配り、おしゃれでユーモアのセンスもある最高の母であり、最愛の妻が、テロ事件に遭遇し突然天国に行ってしまった。そんな環境下でもありながら、腹をすかせた息子の食事を作り、砂場で遊び、絵本を読み聞かせる。誰とも悲しみを共有できない苦しみと、これから続くワンオペ育児への不安をはねのけるように、アントワーヌは手紙を書きだした。命を奪ったテロリストへの手紙は、息子と二人になっても「今まで通りの生活を続ける」との決意表明であり、亡き妻への誓いのメッセージ。一晩で20万円以上がシェアし、新聞の一面を飾ったアントワーヌの「憎しみを贈らない」詩的な宣言は、動揺するパリの人々の人々をクールダウンさせ、テロに屈しない団結力を芽生えさせた。「目には目を、ハムラビ法典の言葉通りの方法で仕返しをするのとは対極に位置する。

★★

## 24年1月以降のイカス倶楽部スケジュール

★★

### 24年01月以降イカススケジュール

01月10日（水）：15：00～花咲投資クラブ、イカス事務所

01月11日（木）：13：30～日比谷会投資クラブ、イカス事務所

01月16日（火）：16：00～ムッシュのサロン・ド・経済、イカス事務所

01月20日（土）：15：00～スペリオール投資クラブ、イカス事務所

01月25日（木）：15：00～東京3Eクラブ、イカス事務所

02月01日(木): 13:30~日比谷会投資クラブ、イカス事務所

02月07日(水): 15:00~花咲投資クラブ、イカス事務所

02月13日(火): 16:00~ムッシュのサロン・ド・経済、イカス事務所

02月17日(土): 15:00~スペリオール投資クラブ、イカス事務所

02月22日(木): 15:00~東京3Eクラブ、イカス事務所

投資クラブは年会費36000円

下線は自由参加で参加費:1回3000円(消費税込み)

第23回(コロナ後再開)カラオケ会:24年01月26日(金):18:00~21:00、倶楽部エ  
ル

2024年1月からは参加費が7000円。2月16日は「2月生まれの会」

2月23日(金)は天皇誕生日に当たり中止、3月は22日(金)

ムッシュのサロン・ド・ムッシュ経済(+コラボ):1月16日(火)16:00~、新春相場見  
通し

2023年11月中旬の円高は大当たり(次回FOMC前にポジション転換)

コラボは朗読会(40分)講師:郷圭子氏(朗読家)「演題:お楽しみに」、イカス事務所  
サロン・ド・知久(交流会):参加費3000円、歩く会・特番は別料金

第33回:23年12月26日(火)14:00~16:00

講師:原真善美氏、「一人芝居、懐かしの冬の映画より」、イカス事務所

2月27日「原真善美」の新企画もあります!!

第34回:24年01月23日(火):14:00~16:00

講師:野口雅代氏、マジックショー、イカス事務所

特番:24年3月30日:「三宅あみと向島を歩く」、9:55 押上駅集合

お昼はうなぎ「前川」を予定、参加費:9500円(予定)

第42回:イカス夏の交流会:2024年6月13日(木)午後6時~午後9時

外国特派員協会、参加費:10000円、事前振り込み:9500円

講師:帝京大学教授・フランスクラブ会員

山本博幸氏 「(仮)日経新聞を読み・活用する技術」

ゲスト:詩吟アーティスト 恵聖氏

NPO イカス:東京都港区新橋3-16-12 横山ビル6F

[info@npo-icas.com](mailto:info@npo-icas.com) <http://www.npo-icas.com>